

自己表現 社会参画

桂川中学校 校長 安藤 能之

桂川町では、就学前から中学校までつながるカリキュラムを通して、子どもたちの成長を図っています。この学習を「ふるさと桂川プロジェクト」と呼んでいます。

キャリア教育ともいわれる連続した取組の中で『ふるさとを愛し、未来を担う人材の育成』を目指しています。

「ふるさと桂川プロジェクト」で目指す子どもの姿として、まず1つめは【自己表現する子ども】です。郷土を誇りに思い、理想をもって主体的に生き方を選択し、自らの夢に向けて学び続けようとする子どもです。

もう1つは、【社会参画する子ども】です。学校や地域社会の一員として自己の役割を自覚し、周りの人と協働しながら町づくりに責任をもって参画しようとする子どもです。

その姿の実現に向けて、3年生が『王塚古墳まつり』でボランティア活動に取り組みました。

まずは、現地調査を行い、課題を見つけ探求しました。そして、解決のための方策を練り合い、プレゼン

テーション大会を行いました。その後、実現可能なものを決定し、半年間、準備や作業を行ってきました。

まつり当日は、主体的に参加した生徒たちが、来訪者の案内や古墳の説明および、自分たちの活動も説明しました。最初はぎこちなかった子どもたちも、次第に笑顔で、そして堂々と来訪者に関わっていました。

ここまでの取り組みができたのは、活動を支えていただいた飯塚青年会議所の皆さんや、桂川町役場関係各課の皆さんなど、多くの方々との連携・協働があったからこそです。この場を借りて御礼申し上げます。

活動後の3年生からは

○自分たちの取組に人が来てくれてうれしい。

○学校以外の人と話す力・説明する力が付いた。

○ボランティア活動への興味・関心が高まった。

などの声が聞かれました。子どもたちの今後の成長の指針となる経験ができたのだと感じています。

子どもたちの更なる成長がとても楽しみです。

学校を支える保護者や地域

桂川町教育委員会

町では、保護者、地域住民および関係諸団体が学校等を支援することにより「子どもの生きる力の育成」と「地域の教育力の向上」を目的として、平成28年4月に「桂川町学校支援地域本部」を設置しました。

そこに、学校を支援していただける方を「学校支援ボランティア」として登録しています。

本年度の「学校支援ボランティア」の皆様の活動を紹介いたします。

【桂川幼稚園】では

○とれたて村で活動する樋口さんの畑での芋苗植え・芋掘り指導

○桂川東小学校1年生・桂川東アンビシャス広場の方との芋苗植え芋掘り交流など

【桂川小・桂川東小学校】では

○八児正信さんによる土師焼指導

○福岡県立嘉穂総合高校との交流（プログラミング学習・野菜作りなど）

○食生活改善推進会による食育指導や郷土料理（だぶ）指導

○伊藤哲三さんによるシーグラス製作指導

○水墨画・お茶・お花・籐細工・しめ縄づくりの指導など

【桂川中学校】では

○食生活改善推進会による食育指導・自立弁当学習

○福祉学習（手話の会・カトレア会・健康福祉課）など



▲芋苗植え
▼手話学習



【その他の活動】では

○「きんもくせい」の会・「桂川東小学校朝読ボランティア」による絵本の読み聞かせ

○「桂川小中見守り隊」・「桂川東小学校おはよう会」による登校指導などがあります。

学習後の子どもたちは、「地域への関心が深まり、桂川町が好きになった」「知らなかった桂川を知ることができた」などと感想を述べています。

町では、「未来を担う子ども達」のため、学校支援ボランティアを募集しています。どうぞ地域の皆様の「知恵」と「技」と「経験」をお貸しください。お尋ねは、学校教育課まで。